

東京芸術劇場コンサートオペラ vol.3

サン＝サーンス／歌劇『サムソンとデリラ』

Samson et Dalila

フランス語全3幕＊演奏会形式（日本語字幕つき）

CAMILLE SAINT-SAËNS “SAMSON ET DALILA” EN 3ACTES VERSION CONCERT



サムソン:ロザリオ・ラスピナ
Rosario La Spina, Samson

指揮:佐藤正浩
Masahiro Sato, Conductor

デリラ:ミリアーナ・ニコリッチ
Miliana Nicolic, Dalila

老ヘブライ人:妻屋秀和
Hidekazu Tsumaya, Un Vieillard Hébreu

大司祭:甲斐栄次郎
Eijiro Kai, Le Grand-Prêtre de Dagon

アビメレク:ジョン・ハオ
Zhong Hao, Abimélech

ペリシテ人1:鈴木俊介
Shunsuke Suzuki, Premier philistin

ペリシテ人2:井出壮志朗
Soushiro Ide, Deuxième philistin

伝令:小笠原一規
Kazuki Ogasawara, Un messenger philistin

管弦楽:ザ・オペラ・バンド
The Opera Band, Orchestra

コーラス:武蔵野音楽大学(合唱指導:横山修司)
Musashino Academia Musicae, Chorus(Chorus master: Shuji Yokoyama)

2016 **2/20** | 土 | 15:00開演 (ロビー開場14:00) Sat.20.Feb 2016,15:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall **東京芸術劇場コンサートホール**

S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥4,000 C ¥3,000 D ¥2,000

一般発売 2015/10/20(火)
芸劇先行(WEB先着)10/13(火)10:00~

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

東京芸術劇場ボックスオフィス
0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)
<http://www.geigeki.jp/t/>

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:276-282]
イープラス <http://eplus.jp/>
ローソンチケット 0570-000-407 [オペレーター対応10:00~20:00]
東京文化会館チケットサービス 0570-084-003 [Lコード:39435]
03-5685-0650 [10:00~19:00]

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成: 平成27年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
文化庁

※未就学児の入場はお断りいたします。 ※やむを得ぬ理由により出演者等変更の可能性がございますのでご了承ください。 ※座席により字幕が見つからない場合がございますご了承ください。

豪華歌手陣が集結！ 上演困難な壮大なオペラ公演がついに実現！

神殿崩壊にいたる壮大なストーリーと、強力なバス&バリトン4名、テノール3名という男声ソリストが必要なことで我が国での上演機会が限られてきた本作品がいよいよ2001年METの来日公演以来、東京で全曲公演が実現する！タイトルロールには、2014年METでの「カルメン」を初め、世界の名だたるオペラハウスで快進撃を続けるニコリッチが満を持して来日！サムソンは2012年当劇場「カルメン」でホセを歌い堂々たる体躯と歌唱で絶賛を博した、「オーストラリアのパヴァロッチ」の異名をとるスピナが再来日決定！日本からはベテランの妻屋秀和を初め、甲斐栄次郎、ジョン・ハオなど世界を舞台に活躍する"低音"歌手が当公演のために集結！地響きのようにホールを満たす圧倒的音圧と壮大な歌唱で贈る一期一会のステージ！

あらすじ サムソンとテリラ ～旧約聖書のストーリー～

ペリシテ人がイスラエル人を支配していた頃、イスラエル・ダン族として生を受け、人並みならぬ怪力を神から授かった男サムソン。成長した彼は宿敵ペリシテ人と戦いの最中、ペリシテ人のテリラという女性を愛するようになった。ペリシテ人はこのことを知り、テリラを利用してサムソンの怪力の秘密を探ろうとした。サムソンはその秘密を洩らさなかったが、ついに怪力の秘密は毛髪にあるということを知ってしまう。テリラの密告によってサムソンは毛髪を切られて怪力を失い、ペリシテ人の捕虜となった。彼は目をえぐりだされ視力を失い、ガザの牢獄で粉をひかされた。ペリシテ人は集まって神ダゴンに感謝し、サムソンを牢から引き出して見世物にしていた。しかし、サムソンは神に祈り、怪力を取り戻し、鎖でつながれていた二本の柱を倒して建物を倒壊させ、多くのペリシテ人を道連れにしてあの世へと旅立った。

名歌手が芸術に一期一会の集結…望みうる最高のキャストで贈る傑作オペラ

同じフランスオペラでも、上演回数の多い『カルメン』に比べたら、この『サムソンとテリラ』は世界的に見ても上演の機会が少ない。注目すべきは、カルメン役とテリラ役は同じタイプのメゾソプラノが歌うという事。世界に魅力的なカルメンがあまたいるにも拘わらず、このオペラがあまり上演されない理由は幾つか見当たりますが、テリラという役にカルメンを上回るほどの圧倒的な魅力、声の深さ(コントラルトのような)、包容力、そして美貌が必要だというのが大きな理由と言えよう。サムソンが難役である事ももうひとつの理由。神が授けた”とつもない力”と、テリラに対する甘い愛の両方を声で表現出来るテノールは少ない。オペラの最後にサムソンが、その怪力で巨大な石の神殿を破壊するのも見所の一つ。今回は他の役を含め、これら条件を十分に満たす名歌手が集結した。演奏会形式ゆえにいわゆる「神殿崩壊」は無いが、サン＝サーンスが初めに構想したオラトリオという形を存分に楽しんで頂けるのではないかと考えている。

佐藤正浩



チケット料金/座席表

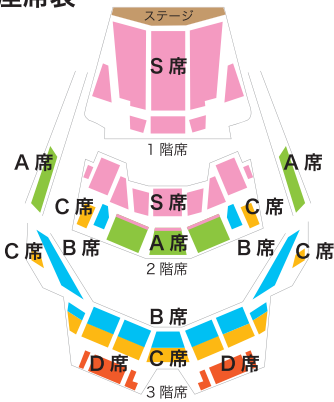
S ¥7,000

A ¥5,500

B ¥4,000

C ¥3,000

D ¥2,000



一般発売2015年10月20日(火)
芸術先行(WEB先着)10月13日(火)10:00～

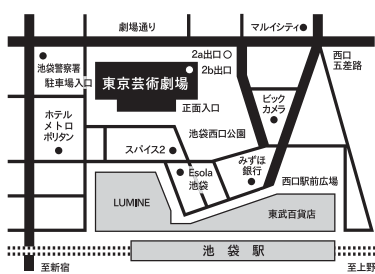
※未就学児の入場はお断りいたします。
※やむを得ぬ理由により出演者等変更の可能性がございますのでご了承ください。
※座席により字幕が見づらい場合がございますご了承ください。

東京芸術劇場託児施設 だっこルーム 電話:03-3981-7003

料金(1公演あたり)0歳から1歳:2,560円(税込)・2歳以上:2,160円(税込)
※開演30分前から終演30分後まで ※事前予約制

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL:03-5391-2111
<アクセス> JR.東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通道の2b出口で直結しています。



ロザリオ・ラ・スピナ[サムソン]

シチリア移民の家系としてオーストラリアのブリスベン生まれ。クイーンズランド音楽院、マンチェスターの王立ノーザン音楽院で学ぶ。2000年ミラノ・スカラ座アカデミー・コンクール第1位受賞。2年間スカラ座の研修生を務め、ドミンゴ、ボロディンと共演してスカラ座デビューを飾る。2002年マリオ・デル・モナコ国際オペラ・コンクールで優勝。以後、フィレンツェ歌劇場、フェニーチェ劇場等イタリアの主要歌劇場で次々とタイトルロールを歌った。現在、世界中のオペラハウスへ出演しており「黄金の声」、「オーストラリアのパヴァロッチ」と言われる美声の持ち主で、ドラマティックな役作りには定評がある。
『まさにオーストラリアのパヴァロッチ。その声は、あなたのこころを融かしてしまうだろう』(ステュアート・モンダー)

ミリヤナ・ニコリッチ[テリラ]

セルビア生まれ。数多くのコンクールで受賞した後、ベオグラード国立歌劇場でオペラ・デビュー。2001年ミラノ・スカラ座アカデミー奨学生としてボロディンのカバーを務める。また、ムーティ指揮『タウリスのイフィゲニア』で抜擢されて以来、スカラ座を中心に、フェニーチェ劇場、ドニゼッティ劇場、シドニー歌劇場、エディンバラ音楽祭、フィンランドのサヴォリンナ・オペラ・フェスティバル等著名劇場、音楽祭へ出演、『サムソンとテリラ』『ホフマン物語』等のオペラからヴェルディのレクイエム等大規模な宗教曲まで多彩な演目を歌っている。2015年『アンナ・ボレーナ』のジョヴァンナ役を歌ってメトロポリタン・オペラへデビューを飾る。
『目の覚めるようなメゾソプラノ。ほの暗いなめらかな響きのなかに、豊かな色たちが煌めいている』(ズザナ・コンウェイ)

佐藤正浩[指揮]

東京芸術大学、ジュリアード音楽院を経てサンフランシスコ・オペラのコーチに就任。また、ケント・ナガノ氏の推薦でリヨン国立歌劇場の首席コレペイトールとなり活躍する。2000年から指揮活動を開始、イギリス・ダーティントンでモーツァルト「イドメネオ」、R.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」を指揮。新国立劇場でグルック「オルフェオとエウリディーチェ」、プッチーニ「トスカ」、東京オペラプロデュース「放蕩物のなりゆき」、ひろしまオペラハウス「カルメル修道女の対話」、三善晃「遠い帆」等を指揮し注目を集める。オペラ彩主催、ヴェルディ「ナブッコ」で三菱UFJ信託音楽賞、会津でのオペラ「白虎」(初演)で佐川吉男音楽賞を受賞。

ザ・オペラ・バンド【管弦楽】

2005年、東京オペラグループ「フィガロの結婚」上演時に、佐藤正浩(指揮)と今野京(コントラバス奏者)により設立された。Orchestra「Les Champs-Lyrics」の名称で活動してきたが、10周年を機に「ザ・オペラ・バンド」に改称。オーケストラ・ピットに入り演奏することを目的とし、首都圏プロオーケストラ演奏家を中心に編成される。これまでに、「フィガロの結婚」「コン・ファン・トゥッテ」「蝶々夫人」「ナブッコ」「オテッロ」「仮面舞踏会」「マクベス」「マリア・ストゥアルダ」「ゼッキンゲンのトランペット吹き」「白虎」(加藤昌則)などに出演し、精緻なアンサンブルと華麗なドラマを聴かせると好評を得ている。中でも「ナブッコ」、「マリア・ストゥアルダ」で三菱UFJ信託音楽賞を、オペラ「白虎」で佐川吉男賞を受賞、演奏担当をした。